

日行連発第15号  
平成31年4月4日

各単位会長様

日本行政書士会連合会  
会長 遠田 和夫  
国際・企業経營業務部  
部長 末廣 元孝

在留資格オンライン手続きについて（周知）

出入国管理及び難民認定法及び同法施行規則の一部改正に伴う在留資格オンライン手続きについて、法務省入国管理局ホームページに詳細が公開されております。

在留資格オンライン申請手続きを行うための利用申出受付は3月29日（金）から開始され、実際のオンラインでの申請受付は7月25日（木）から開始となります。（利用申出は3月29日に開始されますが、ID付与の結果通知メールは7月25日以降になります。）

ご確認の上、会員への周知をお願いいたします。

<法務省入国管理局ホームページ 詳細 URL>

<http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/zairyukanri/onlineshinsei.html>

以上

# 在留申請手続のオンライン化がスタート!!

Start of the online residence application procedures!!

**2019年 3月29日(金)**

Friday, March 29, 2019

## ▶▶▶ 利用申出受付開始

Start of acceptance of requests for use

※オンラインで手続を行うには利用申出が必要となります。

In order to be able to use the online residence application system, you will first have to submit a request for use

**2019年 7月25日(木)**

Thursday, July 25, 2019

## ▶▶▶ オンラインで申請の受付開始

Start of acceptance of applications online

Convenient!



### 対象となる外国人の在留資格は?

What statuses of residence are eligible for use of the online system?

**入管法別表第1の在留資格(外交、特定技能、短期滞在は除きます。)が対象です!**

The statuses of residence under Appended Table I of the Immigration Control Act (excluding "Diplomat", "Specified Skilled Worker" and "Temporary Visitor") are eligible.



### 対象となる手続は?

What kind of applications can be submitted online?

**1** 在留期間更新許可申請(※)  
(※) 具体的な対象範囲は下記ホームページで確認してください。

① Application for "Permission for Extension of the Period of Stay"(\*).  
(\*): For the specific applications that can be submitted online, please check the website given below.

**2** ①と同時に行う再入国許可申請  
② Application for "Re-entry Permission" to be submitted at the same time as the permission in ①.

**3** ①と同時に行う資格外活動許可申請  
③ Application for "Permission to Engage in an Activity Other Than That Permitted under the Status of Residence Previously Granted" to be submitted at the same time as the permission in ①.

### どんな人がオンラインで手続できるの? 対象となる利用者は?

Who is able to submit an application online? Who are the eligible users?

**外国人又は法定代理人から依頼を受けた以下の方々を対象です!**

The following persons who have received a request from the foreign national or his/her statutory agent!

**外国人を適正に雇用し、外国人雇用状況届出を履行しているなど一定の要件を満たす外国人の所属機関の職員の方(※)**

(※) 団体監理型技能実習については、実習実施者の方ではなく監理団体の方  
Staff member of the foreign national's organization of affiliation, which meets certain requirements such as appropriately employing foreign nationals and fulfilling its obligation to submit a notification on the employment status of foreign nationals(\*).

(\*): In cases of technical intern training supervised by an organization, a staff member of the supervising organization.

**上記所属機関から依頼を受けた弁護士又は行政書士の方**

An attorney or certified administrative procedures legal specialist who has received a request from the abovementioned organization of affiliation



**こんなメリットがあります!**  
Benefits of the online system!

★窓口に出向く必要がなく、自宅やオフィスから手続可能! ★利用料金不要! ★24時間利用可能!

Possible to submit an application from home or the office without the need to come to the immigration counter in person!

No fees for use of the online system!

Available for use 24 hours a day!

### オンラインでの手続の流れ Flow of online procedures

[申請人]  
applicant  
在留外国人  
Foreign resident



**1** 依頼  
Request

**4** 結果連絡  
Notification of results

許可の場合、在留カードを手交  
If permission has been granted, the residence card is handed to the foreign national

所属機関職員の方  
Staff member of the organization of affiliation

弁護士・行政書士の方  
Attorney or certified administrative procedures legal specialist



利用申出の承認後、  
利用可能

Online residence application system may be used after the request for use has been approved

**2** オンラインで提出  
Submitted online

**3** 結果連絡  
Notification of results

許可の場合は手数料納付を確認後、  
在留カード発送  
If permission is granted, the residence card is sent out after confirmation of payment of fees

地方出入国在留管理官署  
Regional Immigration Services Bureau



審査  
Examination



**出入国在留管理庁**

Immigration Services Agency

制度に関する詳細については、出入国在留管理庁のホームページを確認してください。

For details of the system, please check the Immigration Services Agency website.

<http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/zairyukanri/onlineshinsei.html>



2019年

3/29

金

利用申出  
受付開始!

Accepting requests for use from Friday, March 29, 2019!

オンラインで手続するには  
事前に利用申出が必要です!!

If you would like to use the online residence application system, make sure you submit a request for use in advance!



利用申出の  
流れ

Flow of request for use



会社所在地の最寄りの地方出入国在留  
管理官署にて必要書類をご提出ください。  
Submit the necessary documents to the  
nearest immigration counter



メールにて、利用のための  
IDが付与されます。  
Your user ID will be sent to you by email



会社所在地の最寄りの  
地方出入国在留管理官署  
The nearest regional immigration  
services office

### 利用申出の要件 Requirements of the request for use

利用できるのは、外国人又は法定代理人から依頼を受けた以下の方々です。

Users who are able to use the online system are the following persons who have received a request from the foreign national or his/her statutory agent

#### ① 以下の※を満たす外国人の所属機関の職員の方

Staff member of the organization of affiliation to which the foreign national belongs, which meets the requirements given below, and other requirements.\*

- ※5年以内に出入国若しくは労働に関する法律により罰せられていないこと
- ※入管法や労働施策総合推進法において求められている届出を行っていること
- ※過去3年間、外国人を適法に受け入れていること
- ※利用申出の承認を受けていない者に不正にIDやパスワードを利用させないこと
- ※1年に1度、求められる定期報告を行うこと 等

- It has not been sentenced to a punishment due to a violation of immigration or labor-related laws within the past 5 years.
- It has submitted the notifications required under the Immigration Control Act and Act on the Comprehensive Promotion of Labour Policies, and the Employment Security and the Productive Working Lives of Workers.
- It has accepted foreign nationals in compliance with the laws and regulations over the last 3 years.
- It has not allowed a person whose request for use has not been approved to wrongfully use a user ID or password.
- It has submitted the required annual periodic report.

#### ② ①の機関から依頼を受けた弁護士・行政書士の方

An attorney or certified administrative procedures legal specialist who has been appointed by the organization described in ①

### 必要書類 Required documents

- 利用申出書 (外国人の所属機関が法人の場合は法人番号も必要です)
- 外国人の所属機関の概要が分かる資料
- 誓約書
- 登記事項証明書
- 外国人の所属機関に所属している外国人従業員リスト
- 弁護士・行政書士の方の場合、外国人の所属機関から依頼を受けたことがわかる資料 等

- Written request for use (the corporate number is required in cases where the organization of affiliation of the foreign national is a corporation)
  - Documents giving a summary of the organization of affiliation of the foreign national
  - Written pledge
  - Certificate of registered matters
  - List of foreign employees belonging to the foreign national's organization of affiliation
  - If an attorney or certified administrative procedures legal specialist is submitting the application online, documents showing such person received a request from the organization of affiliation
- Where required, other necessary documents



利用申出は、全国の地方出入国在留管理官署で受付が可能です。

(成田空港、羽田空港、中部空港、関西空港及び空・海港の出張所は除きます)

The request for use may be submitted to any regional immigration services office in Japan (except for Narita, Haneda, Chubu Centrai, Kansai International Airport, and the branch offices of airports and seaports)



出入国在留管理庁

Immigration Services Agency

制度に関する詳細については、出入国在留管理庁のホームページを確認してください。

For details of the system, please check the Immigration Services Agency website.

<http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/zairyukanri/onlineshinsei.html>



## 利用可能な申請種別

利用可能な申請種別は以下のとおりです。

①在留期間更新許可申請、②再入国許可申請、③資格外活動許可申請

※②及び③の申請は、①と同時申請の場合に限られます。

※③の申請は、出入国管理及び難民認定法施行規則第19条第5項第1号に該当する場合に限られます。

## 利用可能な在留資格（対象範囲）

公用	在留資格「公用」を有する全ての方
教授	次のいずれかに該当すること
	1 大学、大学に準ずる機関又は高等専門学校と直接契約を締結している方
	2 次のいずれかの機関と契約を締結し、かつ当該機関から大学等に派遣されている方 (1) ①日本の証券取引所に上場している企業、②保険業を営む相互会社、③日本又は外国の国・地方公共団体、④独立行政法人、⑤特殊法人・認可法人、⑥日本の国・地方公共団体認可の公益法人、⑦法人税法別表第1に掲げる公共法人 (2) 前年分の給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表中、給与所得の源泉徴収票合計表の源泉徴収税額が1,500万円以上ある機関（以下（1）と併せて「上場企業等」という。）
芸術	次のいずれかの機関に所属する方又は当該機関と契約を締結している方
芸術	1 大学、大学に準ずる機関又は高等専門学校
	2 上場企業等
宗教	宗教法人に所属する方
報道	在留資格「報道」を有し、かつ本邦に所属する機関のある全ての方 (※フリーランスで活動する方は除きます。)
高度専門職1号 イ・ロ・ハ	引き続き行おうとする活動が出入国管理及び難民認定法別表第1に定めるいずれかの在留資格において、オンラインで受付可能な対象範囲内で活動される方
経営・管理	カテゴリー1又は2の機関に所属する方
法律・会計業務	在留資格「法律・会計業務」を有する全ての方
医療	在留資格「医療」を有する全ての方
研究	カテゴリー1又は2の機関に所属する方
教育	次のいずれかの機関と契約を締結している方
	1 学校教育法第1条に規定する学校（幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校）のうち下線のある機関
	2 上場企業等
技術・人文知識・国際業務	カテゴリー1又は2の機関に所属する方
企業内転勤	カテゴリー1又は2の機関に所属する方
介護	在留資格「介護」を有する全ての方
興行	次のいずれにも該当する方
	1 次のいずれかに該当すること
	(1) 在留資格「興行」に係る上陸基準省令2号ハに該当する方
	(2) 在留資格「興行」に係る上陸基準省令3号に該当する方
	2 次のいずれかに該当すること
	(1) 出演先等と直接契約を締結している方
(2) 上場企業等と契約を締結し、かつ、当該機関から出演先等に派遣されている方	

技能	カテゴリー1又は2の機関に所属する方
技能実習 (企業研修型)	上場企業等に所属する方
技能実習 (団体監理型)	団体監理型実習実施者に所属する方 (※団体監理型の場合、オンラインでの申請は監理団体からのみ認められます。)
文化活動	次のいずれかの機関に所属する方
	1 大学、大学に準ずる機関又は高等専門学校 2 上場企業等
留学	大学、大学に準ずる機関又は高等専門学校のうち、申請時に疎明資料の提出を求められていない機関に在籍する方
研修	上場企業等に所属する方
家族滞在	次のいずれにも該当する方
	1 在留資格「留学」又は「文化活動」以外の在留資格をもって在留する方の扶養を受ける方 2 扶養者がオンラインでの申請の対象とされている方
特定活動	次のそれぞれの告示に掲げる方
	・告示3号(台湾日本関係協会職員及びその家族) 在留資格「特定活動」(告示第3号)を有する全ての方
	・告示4号(駐日パレスチナ総代表部の職員及びその家族) 在留資格「特定活動」(告示第4号)を有する全ての方
	・告示6号(アマチュアスポーツ選手) 上場企業等に所属する方
	・告示7号(アマチュアスポーツ選手の家族) 告示6号の方から扶養を受ける方
	・告示32号(外国人建設就労者) 上場企業等に所属する方
	・告示35号(外国人造船就労者) 上場企業等に所属する方
	・告示36号(特定研究等活動) 在留資格「特定活動」(告示36号)を有する全ての方
	・告示38号(特定研究等活動家族滞在活動) 在留資格「特定活動」(告示38号)を有する全ての方 (告示36号の家族の方に限られます。)
	・告示42号(製造業外国従業員受入事業における特定外国従業員) 上場企業等に所属する方
	・国家戦略特別区域法(平成25年法律第107号)第16条の3第1項に規定する特定家事支援活動 上場企業等に所属する方
・国家戦略特別区域法(平成25年法律第107号)第16条の5第1項に規定する特定農業支援活動 上場企業等に所属する方	
外交	対象外
特定技能	対象外
短期滞在	対象外